

きたば ひろし  
**北場 広治さん(53)**  
**古川・渡辺酒造店杜氏**



## コンクール 毎年入賞

飛騨市古川町香之町の渡辺酒造店で、酒造りの責任者・杜氏を、二〇一七年から務めている。毎年、数々のコンクールで入賞し、世界から評価される日本酒を造り続けている。

大阪府出身。中学生のころ、テレビで新酒の完成を伝えるニュースを見た。「白い固体の米が、どうして透明な酒になるんだろう」と不思議に思い、将来は酒造りをしたいと思った。

中学卒業後、すぐ酒造りの道に入りたかったが、親に勧められ地元の高校に通った。「三年間を経ても酒造りへの気持ちは変わらなかった」と、晴れて奈良県の酒蔵で蔵人となった。

「米がどんどん酒に変化していくのを、わくわくしながら見ていた」と振り返る。

二十九歳で杜氏試験に合格。その後、奈良県の別の酒蔵を経て、渡辺酒造店の杜氏だった岡田喜栄治さんに誘われて入社した。「飛騨は気温が低いから、想像以上に酒が造りやすい。うま味が強く、きれのある酒に仕上がる」と話す。

造った酒にはどれも思い入れがあるが「強いて挙げれば、精米歩合18%まで米を削った『超DS』と、『驛飛龍』『首席知事賞受賞酒』をお薦めしたい」。飛騨市古川町。

(瀬田貴嗣)

